

令和5年度 第4回 松田町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和6年3月26日(火) 10:00~11:10

場 所 松田町生涯学習センター 展示ホール

出席者 構成員：古館会長、北村副会長、安藤委員、飯田委員、山岸委員、澁谷委員、北村委員、鈴木克治委員、吉田委員、工藤委員、橘川委員、畑野委員(監事)、尾登委員、最上委員(代理：中川氏)、福島委員(代理 山崎氏)、田代委員、早野委員、宮根委員、遠藤委員、柳澤委員、椎野委員、鈴木英幸委員
欠席者：井澤委員、松本委員、松島委員、芹澤委員、佐藤委員、和田委員、武尾委員、小川委員、平田委員、小柳委員

事務局：政策推進課

鍵和田 龍太、鎌田 拓哉、鍵和田 幸義

市川 和男(まちづくりコーディネーター)

一般社団法人 ASHIGARA ON DEMAND 蛭海 友貴

株式会社 SDK 総合研究所 村井 信夫、横溝 雅央、林 八重

オブザーバー：

足柄広域新モビリティサービス推進協議会 杉本 洋文

大井町企画財政課長 湯川 博之

【議事次第】

- 1 開会
- 2 副町長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の報告と来年度の取り組みについて
 - (2) 松田町A I オンデマンド交通実証実験に係る大井町との協議について
 - (3) 松田町地域公共交通計画(案)について
 - (4) 路線バスのダイヤ改正について
 - (5) その他
- 5 閉会

【会議概要】

1 開会

- ・事務局より開会のあいさつ。

2 副町長あいさつ

- ・昨年10月からA I オンデマンド交通の実証実験を開始しており、近況報告と来年度の予定等について報告をさせてもらう。また、松田町地域公共交通計画(案)について、皆様に審議していただき、承認いただきたい。

3 会長あいさつ

○会長

- ・今日は、A I オンデマンド交通の議題が2件と、地域公共交通計画(案)については令和5年度1年間かけて審議してきたことを踏まえ、承認していただきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

●事務局

- 委員31名のうち21名は出席しており、会議が成立していることを事務局より報告。
※欠席者10名については委任状の提出あり。

4 議事

(1) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の報告と来年度の取り組みについて

●事務局

- ・事務局より、資料1-1の説明
- ・一般社団法人 ASHIGARA ON DEMAND より、資料1-2～1-4を基に松田町A I オンデマンド交通実証実験の中間報告について説明

○会長

- ・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。
- ・令和5年度収支見込書の説明があり、厳しい状況であることがわかった。資料1-2にある来年度以降の取り組みとして収支の見直しがあるが、「運賃改定」や「運行体制の変更」などだけでなく、一般管理費や経営合理化も含めASHIGARA ON DEMAND で経営努力してもらいたい。

(2) 松田町A I オンデマンド交通実証実験に係る大井町との協議について

●事務局

- ・事務局より、資料2-1～2-3を基に松田町A I オンデマンド交通実証実験に係る大井町との協議について説明

○会長

- ・前回の交通会議後に、大井町交通会議の会長と対話を行い、今後も協議を重ねながら松田町 A I オンデマンド交通運行実証実験の運行を進めていきたいということでお互いに同意した。
- ・松田町の取組について評価を頂いていると理解していますので、併せて報告させていただく。

(3) 松田町地域公共交通計画(案)について

●事務局

- ・事務局より、資料 3-1 を基に松田町地域公共交通計画（素案）についてのパブリックコメントの募集結果と、松田町地域公共交通計画（案）への対応の説明
- ・事務局より、資料 3-2 を基に本日の会議を欠席している関東運輸局委員からの松田町地域公共交通計画（案）への意見説明
- ・A I オンデマンド交通の数値目標については、実証実験の経過を見て状況に応じて適宜、数値目標を見直した方が良いという意見があり、専門部会である足柄広域新モビリティ推進協議会等でもう少し議論を深めたうえで、改めたものを設定させていただきたいと考えている。
- ・SDK 総合研究所より、松田町地域公共交通計画（案）について、（素案）時点との修正箇所の説明

○会長

- ・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

○委員

- ・P 1 の序論の中で、市民と町民の表現が混在しているので、全て町民にした方がよい。
- ・P60 の図 34 が P D C A ではなく、P C D A となっている。

○会長

- ・字句の修正の指摘がありましたが、大きなポイントは先程事務局から説明のあった P51 の A I オンデマンド交通利用者数を 65 万人から 10 万人に戻す、P52 の A I オンデマンド交通会員数を 4,400 会員から 3,400 会員に戻すということは、前回の交通会議でも承認されていたことなので問題はないかと思えます。

○委員

- ・P19 の「くるまつくん」の運行について、一部見直しを行ったので後ほど差し替えをお

願いたい。

○委員

- ・ P18 の「松田町高齢者等移動手段確保助成事業」については、令和 5 年 12 月時点では存在していたが、今現在は終了している事業である。

●事務局

- ・ この事業については令和 5 年 12 月末時点で事業終了となっていることから、削除したい。

○委員

- ・ P 1 の序論の 6 行目の「市民」を町民に変えようという意見があったが、一般的に「市民」という中には企業等も含まれた言い方となるので、町民に直すと企業を含んだ意味合いが抜けてしまう。

○委員

- ・ 松田町自治基本条例の中では「町民」の定義について、事務所なども含めた形になっているので、町民としてよいと思う。

○会長

- ・ 「町民」に修正することをお願いします。
- ・ 松田町地域公共交通計画を承認していただくことで宜しいですか。今、ご意見を頂いた内容を修正し、その内容にて松田町地域公共交通計画は承認されたものとします。

(4) 路線バスのダイヤ改正について

●事務局

- ・ 富士急モビリティ株式会社より、資料 4 を基に路線バスのダイヤ改正について説明

○会長

- ・ ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。
- ・ 既にダイヤ改正の回覧板は自治会の方に 3 月 15 日付けで回っており、住民説明会でも説明をされている。

(5) その他

●事務局

- ・「令和6年度 松田町地域公共交通会議スケジュール（案）」について説明
- ・補助金申請、のるーと足柄の運行計画、補助事業の事業評価等などについての協議をお願いしたく、引き続きの協力をお願いしたい。
- ・来年度から委員の一部見直しも行う予定で、のるーと足柄の運行に協力いただいている丹沢交通さんをオブザーバーから委員に加わっていただくことを考えている。
- ・ASHIGARA ON DEMAND では、補助金の獲得を目指し国土交通省の「共創・Maas 実証プロジェクト」への申請を行うことを進めている。是非、松田町地域公共交通会議の委員の皆さまにおいても協力をお願いしたい。
- ・また、観光庁の事業で「地域観光“新発見”事業」というものがあり、こちらの事業への申請も併せて行うことを検討している。

○委員

- ・3月11日よりタクシーの運賃が改定された。初乗りの運賃は変わらないが、初乗り後の加算金額が90円ずつから100円になり、初乗りの距離が短くなって1.17kmとなった。迎車の料金は、事業者各社によって届出制のため違いがあり、利用の際には各社に聞いていただいて利用していただきたい。

5. 閉会

- ・副会長より閉会のあいさつ

○副会長

- ・今回はじめてAIオンデマンド交通の収支状況が出てきたが、収支率が3.3%とかなり厳しい状況だと思う。先程説明のあった補助金の獲得や、既存の交通機関との共存共栄なども踏まえて、2028年度の姿はこうなると言うような目標数値を出してもらったら、実現に向けて自治会としても協力して行けると思う。非常に良いシステムだと思うので何とかAIオンデマンド交通を定着させていきたい。

以上